



吹田市民病院が地域医療の要になるべきだ

げていきますので、厳しい労働に見合う報酬ではなくなってくる。つまり苦勞して医師になったのに「経済的にも社会的にも報われない」状態なので、医師不足が起こるわけです。

さらに女性医師の増加が加わります。女性医師が増えること事態は素晴らしいことですが、日本の医療現場では、十分な出産・育児をフォローする制度も余裕もない。女性はやはり男性に比べて出世も遅い。だから女医さんは途中でやめていくケースが多いのです。いずれの問題をとっていても改善すべき点ばかりです。

吹田市民病院は大丈夫？ 公立病院は大事な役割が

有田 難問が山積している医療現場ですが、しかし地域の人々の命を守る現場としてニーズはとて高いものがあります。公立病院の役割が今こそ問われるときだと思えますが、先日大阪・松原市で突然、市民病院の廃止が発表されました。松原市民は猛反対している方々が多いと聞いていますが、率直に言って吹田市民病院は大丈夫？という声が聞こえてきています。

地元の病院に就職せずに、人気の高い都市病院に集中するという現象が起きています。吹田市民病院としても、これまでの大学病院との関係を維持しながら、積極的に医師を採用していくという姿勢で臨むべきでしょう。例えば夜間診療を支えるために、夜の8時から12時まで小児科医

市民のいのちとくらしを守るために 吹田市はふんばるとき

市民病院だからこそ、大事な役割があると思います。たとえ赤字になっても、夜間救急や小児救急を充実させて、市民のいのちとくらしを守る責任があるのです。地域の安心・安全を保障するから、「社会保障」と言うわけですね。そのためには吹田市の財政から一定の公費負担を行ってでも病院を守るべきでしょう。吹田市も他の自治体と同様に、財政が大変厳しいと聞きます。しかし「何を削って何を守るか」が問われる時代でもあります。国や府が「社会保障切り捨て」の方向なので、厳しいでしょうが、吹田市は踏みとどまって、地域医療を充実させていくべきでしょうね。

有田 吹田市民病院も単年度で赤字が出ています。しかし市民病院を廃止するわけには行きません。地域には高齢者、障害者、母子家庭などさまざまな医療を必要とする人々がおられます。医師不足をどう解決していくのか？赤字になれば吹田市からお金を繰入れする

を臨時で雇用するとか、地域のニーズにあった形態で、医師を確保していくことなども必要になっていくのではないのでしょうか。有田 議会や吹田市内部では、経営という観点から、市民病院を捉えがちです。確かに市民病院には以前のような黒字経営に戻ってほしいのですが、同時に重要なのは「医療の中身」です。例えば障害者歯科は、吹田市民病院の特色の一つ。なかなか街の歯科医には通いにくい障害者の皆さんから、大変喜ばれています。またお年寄りの介護施設が増えましたが、このような施設と連携して、迅速に対応できる病院になれば、信頼され、大いに喜ばれるでしょう。

市民の要望を 吹田市が聞く耳を 持っているかが問題

坂口 そんな医療内容も含めた「吹田市民病院のあり方」を考える市民会議のようなものが必要かもしれません。

有田 兵庫県丹波市の県立柏原病院では、子育て中の母親が中心となって「柏原病院を守る会」ができました。小児科医が疲れてし

かどうか？基本的には、吹田市民の命を守るために吹田市が責任を持つべきだと思いますが、そんなことを含め、吹田市民病院がどんな病院になっていくべきかを、市民が議論する場所が必要になってきますね。

吹田の 地域医療を守る 市民的な議論が必要

坂口 そうですね、吹田の地域医療を守るために市民病院の役割など市民的な議論が必要で、病院が赤字になるのは、

- ① 医師が不足する
- ② 医療の内容が低下する
- ③ 患者が来なくなる、という悪循環に陥るからです。今までは大学病院が医師を研修医として各病院に配置する制度でしたが、4年前から医師が希

まっして辞職しそうだという母親たちが、このままではお産もできなくなる、という危機感から「医師が働き続けられる環境を作ろう」と署名を集めました。一方で、自分たちもちょっとした病気ですぐに病院へ行っていないか？と反省。「コンビニ受診は控えましょう」と、病院の医師が働き続けられる環境作りに協力を始めました。すると、やめようと思っていた医師が母親たちの心意気に感激し踏みとどまるとともに、この話に感銘した別の医師もやってくるということになったというのです。

吹田市民病院は都市型ですので、一概に比較はできませんが、このような市民の運動は参考になりますね。

坂口 問題は、市民の要望をどれだけ吹田市が聞く耳を持っているか、です。厳しい財政状況ですが、吹田市は操車場跡地を買収するの約16億円もの予算を使った、地下鉄今里筋線のJR岸辺駅までの延伸を計画している、などと聞きます。このような開発優先の市政では、市民病院は救えないでしょう。市民が支払った税金の使い道を、今まで以上に監視していかねばならないでしょうね。



有田 八郎さん

望して病院を選ぶという制度に変わりました。だから地方の大学を出た医師が、



市立松原病院閉院を報道する各紙

橋下知事が医療費助成削減 吹田市は いのちとくらし優先すべき

有田 大阪の橋下知事が、高齢者、障害者、乳幼児、一人親への医療費助成を削減しようとしています。また、吹田市も国保の引き上げが検討されているようです。市民のいのちとくらしを守るため、吹田市は何を大事にするのか、今こそ吹田市はふんばるときです。市民病院存続はいのちにかかわる問題。吹田市は開発優先ではなく、いのちとくらしを優先にすべきです。本日はどうもありがとうございます。

市民病院を守るため、吹田市はふんばるとき

